

## 体験することを楽しむ

### 1 中学生体験入学

今日の松江市の予想最高気温は35度。連日の猛暑で実習や部活動でも熱中症対策を講じながらの実施です。本日中学3年生を対象に体験入学を行いました。明日8月1日も実施し、32の中学校から延べ約420名の生徒が本校での学びを体験的に学習します。これだけ暑いとやはり熱中症が心配ですので、実習中での水分補給の時間の確保や日陰や涼風の確保などの対策をとりました。

生物生産科は hidroカルチャーの作成、植物バイオ、農業機械の運転操作を体験し、環境土木科では、ミニ庭園作り、測量、バックホーの運転操作を体験しました。総合学科は、地域クリエイト系列のキノコの栽培、福祉サービス系列の食事介助と沐浴、食品科学系列の糖について知ろう、この3つの内容を順次体験するようなプログラムです。午前中に総合学科、午後には環境土木科を体験した生徒は、キノコについて学び、食事介助と沐浴を体験し、糖についての実験をして、ミニ庭園を作って、測量を体験し、バックホーを操作してみるといった、これまで経験したことがないような様々な体験を1日で行うこととなります。生徒会長が歓迎のあいさつで、「自分もこの体験入学で農林高校の授業と雰囲気を感じ、農林高校に決めた」と話していたように、この体験入学が中学生にとっては進路選択・進路決定の重要な要素になるでしょう。そして、生徒会長が、『今日は皆さんに2つのことをお願いしたい。1つは農林の事を分かって家に帰ってほしい。2つめは今日の体験入学を楽しんでほしい。』と話をしてくれましたが、実際に体験してみてもうどうだったでしょうか？



### 2 農業クラブ県大会

昨日、農業鑑定競技県大会が出雲農林高校で行われ、本年度の農業クラブ連盟主催の県大会がすべて終了しました。8月には意見発表とプロジェクト発表の中国大会が行われ、全国大会に出場する発表が決まります。この10年の本校の県大会での成績を下表にまとめてみました。昨日の農業鑑定競技は昨年、一昨年に続き最優秀賞はなく残念な結果に終わりました。さらに今年度行われた、意見発表、プロジェクト発表、測量競技、農業鑑定競技、家畜審査競技のいずれも県で1位という結果が得られず、これは大いに反省すべきところです。参加したすべての競技・発表会で誰一人1位になれなかったのは、この10年間をみても例がありません。このような大会や競技会で、入賞することも生徒が頑張った証なのですが、1位を取らせるための指導を、農業教員で工夫・連携しながら考えていく必要があると痛感しています。鹿児島で行われる全国大会へは、農業鑑定競技に参加できるので、ぜひここで一発逆転の全国1位、全国入賞を目指して計画的に取り組んでほしいと思います。“そこそこやる”のではなく、“そこまでやるか”という境地になってはじめて全国1位が見えてくるのでしょうか。

この競技に関わるすべての皆さんの頑張りを期待します。

農業クラブ発表会・各種競技県大会での本校の成績（○印が最優秀賞）

年度	意見発表			プロジェクト発表			平板測量競技	家畜審査競技	農業鑑定競技				
	I類	II類	III類	I類	II類	III類			農業	園芸	食品	土木	造園
2018 (H30)													
2017 (H29)					○								
2016 (H28)		○		○			○						
2015 (H27)		○							○			○	○
2014 (H26)				○								○	○
2013 (H25)						○	○	○肉牛				○	○
2012 (H24)			○			○	○			○			
2011 (H23)							○					○	○
2010 (H22)				○					○			○	○
2009 (H21)							○			○	○	○	○